

材

四年

画数 7
筆順

十木 木材
ザイ

成り立ち



材 ↓ 材 ↓ 材 ↓ 材

「今に大きな働きをする力をもつ」という意味の「才(年142)」と「木」とを組み合わせて作った字で、「今に大きな働きをする力をもった木」という意味を表した字です。

「今にりっぱな家になる、建築に使う木」のことを表した字です。「材木」、または「木材」とも言います。

木にかぎらず、「物を作る」とも「原料」になるもの」の意味に使います。【例】材料、素材。

また、「今にりっぱな働きをする人」の意味にも使われます。【例】人材。

使い方

▽料理をする時には、まず材料をととのえておくことが大事です。何か、材料のうち忘れ物があったりすると、また、買いに行かなければなりません。料理に限らず、何をするにも、何と何が必要かということ、あらかじめ、考えておくことです。

熟語例

- ▽材料 (物を作るものになるもの。原料)
- ▽素材 (もとになる材料。とくに、芸術作品のもとになっているものをいいます。「単純なもようを素材にして、実に美しい芸術作品を作り上げていく」などというふうには、つかいません。)
- ▽題材 (芸術作品の内容。テーマ。「題材を農民生活にとっている作品」などというふうには、つかいません。)
- ▽教材 (勉強につかう材料。「生きた植物を教材につかって、理科の勉強をする」などというふうには、つかいません。)
- ▽人材 (りっぱな働きをする、才能のある人。「わが社では、有能な人材を求めている」などというふうには、つかいません。)

昨

四年

画数 9
筆順

日 昨 昨
サク

成り立ち



木に切り目をつけた形を表した「作(作2年144)」と「日」とを組み合わせて作った字です。

「日に切り目をつけて、今日という日と切り分けられた日」という意味の字で、「きのう」という意味を表したものです。【例】昨日、昨晩、昨夜。

また、「日」にかぎらず、「その前の」年や週のことにも使います。【例】昨年、昨週、昨春。

使い方

- ▽昨夜は、遅くまで、花火見物をして、今朝は眠くてしかたがありません。
- ▽昨年の米のでき高は、あまりよくなかったが、今年は大変豊作になった。

熟語例

- ▽昨日 (きのう。今日の前の日)
- ▽昨晩 (きのうの晩。ゆうべ)
- ▽昨夜 (きのうの夜)
- ▽昨年 (去年。今年の前の年)
- ▽昨週 (今週の前の週)
- ▽昨春 (去年の春)
- ▽一昨日 (おととい)
- ▽昨今 (きのうきょう。このごろ。「昨今は、物価があがって、生活も楽ではない」などというふうには、つかいません。)